

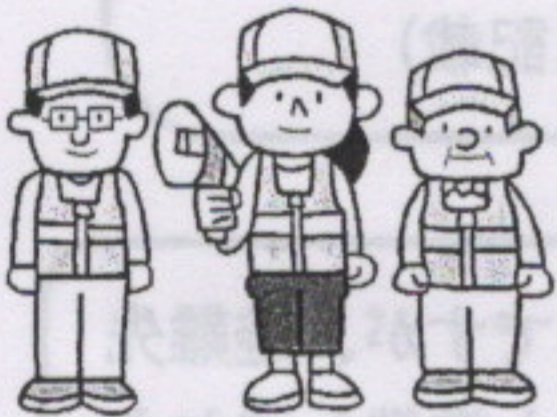
回 覧

三馬校下の皆様へ

「三馬地区防災計画」のお知らせ

- 金沢市から地域での自助・共助による防災活動の地区防災計画の作成が求められ、今般、三馬校下の三馬地区防災計画を策定しました。(令和4年3月1日施行)
- 地震などの大災害発生時、即時の行政支援は難しく、近所、町会での声掛け、助け合いが重要で、「自分たちの地域は自分たちで守る」という認識と連帯感に基づく地域コミュニティの防災活動をするため、自主防組織の再構築等々を内容とした地区防災計画です。

自主防組織って



地区自主防組織は、町会・住民へ防災に関する活動や情報伝達などがスムーズに行われるよう町会連合会と同一の組織体制にしました。災害時には、町会長は地区災害応急活動のため避難所へ駆けつけ避難所開設、避難者受入れ等に携わります。地区自主防組織は、町会長、防災士、防災担当者（町会から2名）で構成します。

町会長は避難所へ

地区自主防組織の災害直前・発生時のタイムラインは別表に記載してあります。

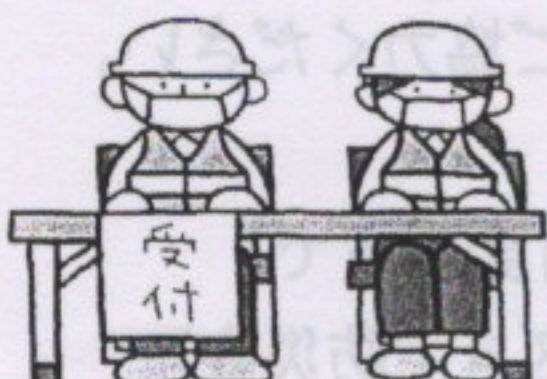
町会長は避難所対応に駆けつけるため、町会では町会長代行（名称は適宜）を配置し、町会の災害応急活動を指揮します。そのため町会においては、平常時の防災活動や災害時の体制、災害応急活動等の準備をしておくことが大変重要となります。

自主防災の活動は



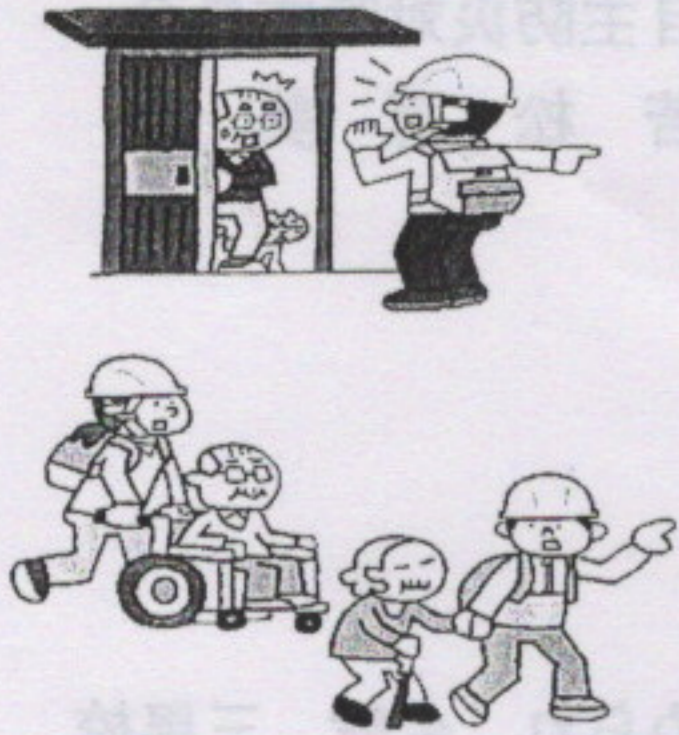
地区自主防組織は避難所開設を中心とした総務、情報、被災者管理、施設管理、衛生・救護、食料・物資、ボランティアの班体制で組織し防災活動、災害応急活動等の準備をします。また、災害時は地区災害対策本部（地区自主防組織、各種団体、学校、金沢市の代表等）の指揮の下に災害応急活動を行います。（班の役割は別表に記載してあります。）町会での消火、救出救護、避難誘導、各班の防災活動は、各町会において町会の状況・必要に応じ、災害応急活動や平常時の体制や活動の準備を考えておきましょう。

避難所の運営は



大規模災害では避難所に多くの避難者が来ることが想定され、避難者受入れ等に多くのスタッフが必要です。町会から各2名の防災担当者や各種団体、地域協力者等のほか、避難者にもスタッフとして活動をしていただきます。（避難者一人ひとりが「避難所運営に関わるスタッフ」であると認識し、協力して避難所生活しましょう。）

町会や私たちはどうすれば



地区自主防・町会・住民の主たる役割は、
○地区自主防は、町会への避難情報伝達、避難所開設・避難者受入れ、地区の防災啓発
○町会は、避難情報伝達、避難行動要支援者の支援、町会の防災体制、住民の安否確認や防災啓発等々の具体的内容策定
○住民は、身を守るための準備・避難行動、向こう三軒両隣への声掛け・助け合い、などです。

地区自主防・町会・住民の役割に対する「平常時」「発災直前（風水害）」「災害時（風水害）（地震）」におけるそれぞれの活動内容を別表に例示してあります。

近年の災害では、高齢者等自力での避難が困難な方が被災されており、町会でも避難行動要支援者の把握と地域支援者を設け、個別避難支援計画を作成し、日ごろの声掛けや災害時の避難支援をお願いします。これらは地域の皆さんの協力がなければできません。（避難行動要支援者の把握、支援体制・個別避難支援計画の詳細は別表に記載）

避難はどこへ 何持って



三馬地区（校下）の避難所は「三馬小学校、清泉中学校」ですが、避難先として避難所以外にも親戚・知人宅や在宅・車中避難なども準備しておきましょう。

避難所である学校には、物資・資機材を保管する場所も十分でなく水や食料の保管はありません。避難物資もすぐには届かず、自宅での備蓄品を携行しての避難が必要です。地震では圧死しないための耐震や家具の配置のほか、家屋倒壊においても取り出しやすい場所に備蓄しておくことも大切です。

水災害における一時避難場所に集合してからの避難は、町会の負担と逃げ遅れの恐れもあるので、近所声掛けあって早めの避難をしましょう。一時避難場所は地震での一時待機など、町会での利用方策を考えましょう。

避難を家族で確認

隣近所に声掛けて（自助・近助）



自分の安全は自分で守るため、各戸ではマイタイムライン（別表に例示）を作成し、避難場所への経路、危険個所確認、避難所要時間等の避難準備をしておくとともに、避難においては隣近所に声かけあって複数で早めに避難行動などをしましょう。

○「安心・安全に暮らせる防災まちづくり」のために、三馬地区防災計画にご理解ご協力ください。

【お問い合わせは、ご自身の町会の町会長まで】
三馬校下自主防災対策委員会（三馬地区自主防災会）